



巡礼その五十七 三重

2022 9月 29日

今回は近鉄都ホテルチェーンの利用券7万円があるので、久しぶりに三重県（伊勢・志摩）へ行く。志摩観光ホテルで海のディナーを食べるためである。そして伊勢街道周辺の庚申塔や石仏、名所を回る。そのほか美杉町と名張も見る。後輩が鶴方にいるので会う約束もする。

割引が効く朝一のひかり6：30分で名古屋まで行く。朝食はもちろん大船軒のサンドイッチと思ったが、品川のお弁当屋がまだ空いていなかったのもので、普通のサンドイッチを買う。名古屋のトヨタレンタカーでヴィッツを借りてまず菰野町竹成にある大日堂境内の五百羅漢を目指す。菰野町竹成は落ち着いた町で道路沿いに大日堂がある。その前の小高く盛った土の山一面に五百羅漢が安置されている。そのほか東入口付近には大地蔵菩薩と二童子・三蔵法師・弘法大師。南には照空上人、地獄の閻魔大王と十王。山上には大日如来と四方仏。その前に釈迦如来と普賢菩薩、北には七福神、役の行者、天照大神、猿田彦、羅漢諸仏などが見られ、盛り沢山である。この大日堂のすぐ前に古い佇まいの立派な和菓子屋さんがあり、きな粉団子と饅頭を買う。ここから四日市の方に行き、伊勢路の旧道にある庚申塔を見ていく。伊勢路はととても道幅が狭くすれ違うのがやっとなのである。街道沿いの覆屋の中に安置されているものは鍵がかかって写真に撮りにくい。いい状態のものは少ない。状態の良いものは彩色されている場合が多い。なんとか斎宮まで行く。斎宮について知ることも今回の目的の一つなので斎宮跡や歴史博物館へ行く。この時期はどこに行っても金木犀が香ってくるし、彼岸花が咲き誇っているととてもいい季節である。お昼になったのですぐそばのジョイフルへ行く。夕食は豪華なディナーなのでハンバーガーにしておく。これがとても美味しかった。また伊勢路の庚申塔を少し見て、二見ヶ浦の夫婦岩へ行く。あまり人がいない。本日最後の松下社蘇民将来神社へ行く。とても雰囲気のある神社で蘇民将来も祀ってある。境内の樹齢2000年と言われる大楠がすごい。ここから志摩観光ホテルを目指す。泊まるところはクラシックという旧館で40年以上前に泊まった。おもかげはあまりない。しかし部屋の窓から見る英虞湾の景色は同じであった。お風呂に入りメインダ

イニングのラ・メールへ行く。入るとすぐにサミットの行われたテーブルがそのまま残されている。日本の隣はアメリカとフランスであった。平日にも関わらず10テーブル以上埋まっている。コースはアミューズ／車海老のカクテル／伊勢海老のクリームスープ／伊勢海老のアメリカンソース／アワビのステーキ／デザート／コーヒーである。利用券があるので気が大きくなり、アラカルトでウニのボンファムを追加する。ウニのボンファムとアワビのステーキが美味しかった。とても疲れたので部屋に帰り、すぐに寝る。

9月30日

6時に起床、シャワーを浴び、7時にレストランへ。私は和食、妻は洋食にする。和食はオーソドックスでカマスの干物は絶品である。妻はエッグベネディクトを食べている。シナモンロールがとても美味しい。今日の予定は大変である。まず美杉町まで100kmはある。8時30分出発。景色が良いのでドライブは楽しい。以前も美杉町へ来ているが、やはりここは秘境である。以前行った寺院を今回もまわる。日神石仏群、真福院は何度訪れても良い。今回はここから名張市へ行く。目的の一つである名張市上長瀬国津神社の一石三十三観音は素晴らしかった。とても綺麗な部屋に安置されているので保存状態が最高で細部まで美しい。ここから名張の街までいくつか石仏があるが見つからなかった。名張はブドウで有名で葡萄畑がある。ここでも迷ったが葡萄畑の人に聞いて青蓮寺を見つけた。ここにも一石三十三観音がある。境内にあったが白カビで覆われ彫刻がよく見えない。今日は鶺方にいる大学の後輩と一緒に夕食を食べる予定なので逆算するともう戻らなくてはならない。ここから130kmはある。一般道と高速を使い4時30分に鶺方のビジネスホテル藤に到着。このホテルは川沿いにありとてもものんびりしたところである。なんと素泊まりで1万円しない。部屋の広さは志摩観光ホテルと同じか少し広い。トイレとバスが別なのが嬉しい。ゆっくりバスに浸かれる。こういう地方のビジネスホテルがまた楽しい。後輩が奥さんと5時半に迎えに来た。20年ぶりである。私が寿司をリクエストしたので地元のネタを出す寿司屋に案内してくれる。町中の古いビルの一階にある。中はとても綺麗でカウンターに5人ほど座れる。4人でカウンターに座り、おまかせで地の魚を握ってもらう。とても美味しく夢中で食べた。東京へ初めて行った大将の修行時代の話がとても面白い。高卒で初めて修行した料理屋は赤坂にあり、鶺方からいきなり丸ノ内線に乗る話が最高である。今でもとてもものんびりしている鶺方の30年前からいきなり赤坂である。友達と新宿2町目のバーに連れ込まれた話も面白い。十分楽しんだ後、後輩の家でさらに鰹のタタキとヒレスステーキをいただく。後輩はもう20年以上

透析を行っており、みんなで病氣自慢が始まる。10時を過ぎたのでホテルに送ってもらい、再会を誓い合う。11時消灯。

10月1日

6時起床、7時出発。まず御座にある海中にある地蔵を見に行く。島の突端まで1時間はかかる。道は沖縄や奄美大島に似ている。御座の港に鳥居があり、そこを抜けていくと目的の地蔵が岩場の中にある。満潮だと沈んで見えない。今はなんとか首から上が海面から出ている。出来は良くない。広島のとんぼ地蔵とは大違いである。ただし海はとても綺麗であった。ここから伊勢まで戻る。朝熊町金剛證寺のチンコ地蔵を見るためである。金剛證寺に行くためには伊勢から有料道路の伊勢志摩ドライブウェイを通らないといけない。金剛證寺は昔より伊勢神宮の鬼門を守る寺として、神宮の奥之院ともいわれ「お伊勢参らば朝熊かけよ、朝熊かけねば片参り」と伊勢音頭の俗謡にも唄われ、参宮する人々は当寺に参詣するのが習わしだった。参道にあるオチンコ地蔵は20cmほどの小さな地蔵であるが、とても立派ないちもつを持っている素晴らしい像であった。金剛證寺は池や立派な伽藍を持つ大きな寺院である。その後少し山側にある庚申塔をいくつか見る。お昼は松坂なので松坂牛を食べる。「まるよし」というお店で「まるよしなべ」という松坂牛の牛鍋を食べる。そのほかに松坂牛のモツ煮も頼む。これが美味しかった。また庚申塔を見て高速に乗り名古屋へ行き、レンタカーを返す。駅で定番の赤福と味噌カツ弁当を買って品川へ。